

第二中学校区(第三小学校・広沢小学校・本町小学校・第二中学校)

ふれあい通信



↑ロゴは第二中生徒作品です

事務局:教育委員会生涯学習課 048-424-9150

三寒四温と申しますが、どことなく春らしい気分がたayoこの頃です。毎年この時期に1年生の生活科で「昔あそび」の体験学習を行っています。今年も広沢小学校から地域学校協働本部に学習支援の依頼を受け、保護者、地域の方々約20名が1年生と一緒にむかしあそびを楽しみました。写真は活動の様子です。



開会式、地域代表のあいさつです



「かるた」



「けん玉」



「おはじき」



「だるまおとし」



「こま」



「お手玉」



「竹うま」

1年生は、地域の人たちから昔あそびを教えてもらうことで、これまで知らなかった遊びやできなかった技ができるようになったり、地域の方と一緒に楽しい時間を過ごしました。地域の方から感想が届いていますので紹介します。

子どもの笑顔にパワーをもらった。

子どもたちのかがやく顔に出会えて、ばあちゃん元気になりました。良い機会をありがとう。

また機会があったら手伝いたいです！

けん玉の持ち方を教えたら、すぐに何人かできるようになり、うれしい顔、笑顔を見ることができてよかった。

みんなが可愛くて楽しい時間だった。

1年生がキラキラした目を輝かせながら取り組んでいたのが、可愛かった。

ボランティアの方の子どもに接する優しさが勉強になった。

自分も童心に戻り楽しく参加させてもらった。また機会があればぜひ参加したい。

子どもたちは純真でこちら自然と笑顔が出た。

2月の活動の報告、本町小学校、第三小学校の取組を紹介します。

2月12日(木)本町小学校の5年生、保護者、地域の方を対象に「デジタル・シティズンシップ(デジタル市民権)講座」-デジタルとリアルにつなぐ-SNSと上手につきあう力を考えようを開催しました。講師には、地域のITの専門家山崎氏をお招きし、SNSの使い方についてわかりやすく、紙芝居、すごろく(デジタル)を使いながら説明を受けました。始めに児童に「SNSを使ったことがある人は？」という問いかけに、半数以上の手が上がりました。「SNSやインターネットは、友だちとつながったり、たくさんを知ったりできる便利な道具です。でも、使い方を間違えると、人を傷つける、自分が困ってしまうこともあります。」という講師の話に児童は真剣に耳を傾けていました。最後にデジタル・シティズンシップの5つの視点として、①コミュニケーション②情報の扱い③安全な将来④トラブルの備え⑤自分を整えるを示されました。



2月13日(金)第三小学校の3年生3学級が、和光市との交流都市十日町市の小学校と授業交流を実施しました。写真は3年3組の授業風景です。始めに第三小学校が和光市の特徴を説明し、質問、感想を受けた後、十日町小学校の発表を聞きました。オンラインでの交流でしたが、それぞれの地域の特徴を知ると同時に我が町の良さを改めて知ること、教科書だけでは学べない学習ができました。